

# 2023年度 各授業学習目標・授業目標 科目名：2年探究C・グローバルスタディ

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGsの達成を目指し、Mastery for Serviceを体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際的な社会的課題とそれに取り組む団体・組織に関する知識を身に付ける</li> <li>・国際的な社会的課題を考察できるように調査研究方法と語学力を高める</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的課題に対する自らの関心に気づく・問題を自分事にする</li> <li>・多角的に国際的な社会問題を考察できるよう、批判的思考能力を高める</li> <li>・学びの成果を社会に向けて発表する</li> </ul> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「何」を「なぜ」探究したいのかを追求し、それをすることがどのように社会に貢献するのかを考える</li> <li>・世界にある多様な価値観を尊重する</li> <li>・直接の出会いの中から学ぶ・違いの中から学ぶことができる</li> <li>・先人の歩み、先行研究から学ぶ、謙虚な姿勢を養い、知の集積を目指す</li> </ul>	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①国際的な社会的課題やそれに取り組む組織について、自分の言葉で説明することができる</li> <li>②調査・研究を行うための基本的リサーチメソッドを理解し、教員の補助の元それらを運用することができる</li> <li>③海外の高校生と英語を用いて国際的な社会的課題について意見交換、質問、議論することができる</li> </ol> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①社会的課題について多角的・批判的な視点から捉える事を通して、自分の価値観を検証することができる</li> <li>②国際的な社会的課題の解決方法について仮説を立て、調査を行い、検証することができる</li> <li>③当該課題に向き合う中で、自分の取り組みや探究の成果について他者に発表することができる</li> </ol> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①世界の中に多様な価値観があることを受容し、自分がそれらにどう関わって生きていくのかを方向づけることができる</li> <li>②世界の中の日本の位置づけを意識しながら、これまでに解決が困難だと考えられてきた国際的な社会的課題について自分が参画、貢献しようとする姿勢を持つことができる</li> </ol>	

授業日	6/6(火)	1 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国際連合：人権」を理解し、それについて自分の考えを表明し、他者と意見を共有する</li> <li>・「国際連合：人道支援・国際法」を理解し、それについて自分の考えを表明し、他者と意見を共有する</li> <li>・CNN ニュースを使用し、英語の発話活動を行い、発音、発話時間、内容、流暢さの評価を行う</li> <li>・翌週の村田俊一教授の基調講演に向けて事前準備を行う</li> <li>・リサーチグループに分かれ、国連大学ツアーの2日目に行う調査計画・内容を深める</li> </ul>		
時間 授業内容	5 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Reading Group Discussion 6 (プレゼン、質疑応答、振り返り)                ↑「国際連合：人権」をテーマにした発表とディスカッション</li> <li>・ Reading Group Discussion 5 (プレゼン、質疑応答、振り返り)                ↑「国際連合：人道支援・国際法」をテーマにした発表とディスカッション</li> </ul> 教員からのフィードバック内容確認 Teams の使用法の確認	
	6 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CNN English News 「Rare-Earth Elements Found in Sweden」を用いた暗誦テスト。音声認識機能を使った発音チェック。</li> <li>・ 関西学院大学 村田俊一教授の紹介動画を見て、若者へのメッセージを受け取る。村田先生からの課題図書について説明。質問項目を考える。</li> <li>・ リサーチグループに分かれ、夏季休暇中の国連大学ツアー2日目のフィールドスタディー先に関する調査</li> <li>・ リサーチグループに対して、研究焦点の細分化の議論とフィードバック</li> </ul>	
評価方法	発表者（発表スライド、発表資料、発表そのもの）、聴衆（Worksheet Reflection Sheet 6 & 7）、全員 CNN English News Test 3: Timed Recording based on 3 criteria (Accuracy, Fluency, Phonological perspectives)		
宿題指示	Reflection Sheet 6 & 7 が終わっていない人は次週までに完成し、提出する 国連大学ツアー2日目の調査シート完成・Teams で提出（詳細を含め） CNN English News Test 4 村田俊一教授からの課題文献2つを読み、質疑応答用の質問を考えてくる グループリサーチのための参考文献を読み進める		